

新たなコアコンピタンス

新ブランドパワーの構築へ向けて： サステナブルなグローバルモータースポーツ推進

ブリヂストンモータースポーツ活動60周年 「極限」へのジャーニー

対象となるBridgestone E8 Commitment

Energy

Ecology

Emotion

ブリヂストンモータースポーツ活動は2023年に60周年を迎えました。モータースポーツはタイヤメーカーとしての「原点」であり、「極限」への「挑戦」です。この記念の年に、タイヤメーカーとしての「原点」に立ち戻り、「極限」へのジャーニーへ再度踏み出し、サステナビリティを中核に据えたサステナブルなグローバルモータースポーツへ活動を強化していきます。

さらに、60年のモータースポーツ活動を通じて築いたグローバルブランド力を、新ブランドパワーとして進化させ、サステナブルなグローバルプレミアムブランドを構築することに挑戦していきます。

≫ ブリヂストンモータースポーツの歩みと「挑戦」

モータースポーツは、19世紀末の黎明期から100年以上の間、レースといった極限の状況で性能や耐久性など最大のパフォーマンスを求めることで、クルマを鍛え、モビリティの進化に貢献してきました。当社グループにとっても、モータースポーツはまさに「極限」への「挑戦」です。クルマ、ドライバーが極限の状態挑戦を繰り返すレースの中で、「タイヤは生命を乗せている」を大原則に安心・安全を守り、クルマの動きを支えるための挑戦を繰り返してきたことが、今日のブリヂストンに繋がっています。

当社グループは1963年の第1回日本グランプリから国内モータースポーツに参戦して以来、国内から世界へと活動の場を広げ、様々なモータースポーツに挑戦してきました。1995年にはINDYCAR® SERIESへ復帰、1997年にF1®、2002年にはMotoGP™へ参戦し、世界の頂点でグローバルモータースポーツを足元から支えました。

現在は、世界のサーキットから遠ざかってしまっていますが、90年代に、F1® モナコグランプリ、Indianapolis 500®、ル・マン24時間レースという世界3大レースを走り、表彰台に上がりました。

≫ 「極限」への「挑戦」で得たもの

モータースポーツにおける経験は、当社グループにタイヤメーカーとしての情熱をもたらした他、過酷な環境で使用されるタイヤの技術・開発力を研ぎ澄ますと共に、世界中を短期間で転戦するレースへのタイヤ供給など、極限の状態でのオペレーションの遂行に寄与してきました。今日の当社グループのビジネス基盤となる総合力を磨き上げた場とも言えます。そして、レースを通じその実力を証明することで、ブリヂストンブランドを

グローバルでプレミアムへと押し上げ、お客様からの信頼を獲得し、当社グループが現在グローバルカンパニーとして世界中でプレミアムタイヤを基盤としたビジネスを展開する原動力となりました。また、この極限への挑戦は、エンジニアからビジネスパーソンまで当社グループの様々な事業領域における人財育成にも貢献しています。

挑戦を通じて現場で磨いた技術やブランド力は、4輪のスポーツタイヤブランド「POTENZA」や2輪の高性能バイクタイヤブランド「BATTLAX」といった当社グループのプレミアム商品ブランドの確立にも寄与し、現在のプレミアムタイヤ事業の拡大に繋がっています。

≫ サステナブルなグローバルモータースポーツへ

そして、Bridgestone 3.0において、ビジョンに掲げるサステナブルなソリューションカンパニーへの変革を加速する中、その起点となるのが、「極限」に挑むモータースポーツです。タイヤメーカーとしての「原点」に立ち戻り、「極限」へのグローバルジャーニーへ再度踏み出し、モータースポーツ文化の発展を支え続け、リアルとデジタルを組み合わせたサステナブルなグローバルモータースポーツ活動として進化させていくことに挑戦します。

サステナブルなグローバルモータースポーツを推進していくことにより経営をさらに強くし、経営の中核であるサステナビリティ、ブリヂストンとしての誇りやパッション、「品質へのこだわり」「現物現場」「お客様に寄り添う」そして「挑戦」の4つのブリヂストンDNAも極めていきます。さらに、これからの経営に必須な変化に素早く対応する力であるアジリティをも包含し、アジャイルでサステナブルな経営を実現していくための起点としていきます。特にサステナビリティについては、これまで培ったタイヤ



INDYCAR® SERIES 復帰



F1® 参戦

MotoGP™ 参戦
第18戦 (於バレンシア)

メーカーとしての総合力をさらに磨き、「極限」に挑戦することで、サステナブルにモータースポーツを足元から支えています。その一つの取り組みとして、乾燥地帯で栽培可能なグアユールから採取した天然ゴムを使ったレースタイヤの開発など、再生可能資源比率の高いタイヤ開発を推進しています。2022年にはグアユール由来のタイヤをNTT INDYCAR® SERIESに供給し、その性能を実証しています。当社のサステナビリティへの取り組みは、国際自動車連盟(FIA)の環境マネジメントプログラム「FIA 環境認証プログラム」においても認められ、最高位である3つ星を獲得しています。

グアユール由来の天然ゴムを使用した
レースタイヤ

》モータースポーツ活動計画

今後のモータースポーツ活動は、サステナビリティとモータースポーツ文化の発展を支える2つの軸で展開していきます。サステナブルなグローバルモータースポーツ活動としては、当社グループが2031年までタイトルスポンサーを務めるソーラーカーレース「Bridgestone World Solar Challenge」のサポートに加えて、裾野を広げ、カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えるため、新たにFIAが推進する電気自動車の国際レース「Bridgestone FIA ecoRally Cup」のオフィシャルパートナーとして参画することを発表しました。また、モータースポーツ文化の発展を支える活動として、eモータースポーツへのサポートなどを通じ、モータースポーツの魅力や楽しさを広く伝え、モータースポーツファンの裾野をより広げることに挑戦しています。

従来からのレースへのサポートも含め、4輪、2輪、デジタル、トップカテゴリーレースからアマチュアドライバーによる参加型レースまで、国内外で広く地道にモータースポーツを支え続けます。



Bridgestone World Solar Challenge



eモータースポーツへのサポート

》心動かすモビリティ体験を支えることから始まる「共創」
10年後、20年後にも走るワクワクを提供し続け、モータースポーツ文化の発展を支え続けるという決意とパッションを、「Bridgestone E8 Commitment」の中の「Emotion 心動かすモビリティ体験を支えることにコミットする」に込めています。そして、多くの仲間たちとモータースポーツを共に楽しみ、感動を共有することで、当社グループの挑戦に共感頂き、持続可能な社会の実現に向けて、未来を共に創っていく「共創」へと繋げていくことを目指していきます。従業員、社会、パートナー、お客様と一緒に、サステナブルにモータースポーツのエンジンを回し続け、盛り上げることで、この「極限」へのジャーニーを加速していきます。